

情報公開文書

研究課題名	自家末梢血幹細胞移植後に発症したトキソプラズマ感染症の検討
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：)
研究責任者	当 院 所 属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>廣島 由紀</u>
研究期間	(西暦) 2018年3月～2019年12月31日
研究の概要	(研究の意義・目的) 自家造血幹細胞移植(Auto-HCT)後トキソプラズマ症の認知度は未だに低く、多くの症例が見逃されている可能性があります。 1998年7月～2017年6月の18年11ヵ月に当院で自家造血幹細胞移植を施行した152例について、トキソプラズマ抗体の陽性率、およびトキソプラズマ症の発症を後方視的に検討し、自家造血幹細胞移植後トキソプラズマ症の合併頻度、臨床的特徴を明らかにすることを目指します。 (研究方法) 1998年7月～2017年6月の18年11ヵ月に当院で自家造血幹細胞移植を施行した152例を対象として、年齢、性別、疾患、合併症、移植方法、前処置、トキソプラズマ症予防の有無、トキソプラズマ抗体、臨床症状、血算、生化学検査(AST ALT LDH フェリチン CRP T-Bil IgG など)、剖検所見、CT等画像検査、トキソプラズマ PCR 結果、トキソプラズマ症に対する治療内容、その後の経過について検討します。
試料・情報	(試料・情報の項目) 電子カルテ上のすでに診療で得られた調査項目内容を抽出し検討します。新たな研究材料は用いません。後方視的観察研究であるため被検者に起こり得る危険はありません。
研究対象者	1998年7月～2017年6月の18年11ヵ月に当院で自家造血幹細胞移植を施行した152例を対象とします。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>廣島 由紀</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439